

アクションプランの取組成果について

1 趣旨

令和5年7月に「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン～一人ひとりの人生を支援する～」(以下「アクションプラン」という。)を策定して以降、アクションプランに基づく取組を進めてきた。

その進捗確認は、「個々の取組の状況だけでなく、利用者の暮らしが豊かになったのかという視点」で確認していくこととしており、令和7年度は計画期間の最終年度であることから、計画期間3年間の取組による成果を見える化し、地方独立行政法人における福祉科学研究・実践に繋げる。

2 成果の見える化

- ・ 取組状況に加え、利用者、職員、組織の変化を客観的に定量化する。
- ・ 定量化に当たっては、利用者の暮らしが豊かになったのか、これまでの課題を考慮し、アクションプランの達成度を表す指標を設定する。
- ・ 定量化した実績を踏まえ、定量的に評価できない主観的な側面も含め、園と本庁で評価したうえで、改革アドバイザリー会議で評価する。

3 アクションプランの達成度を表す指標（案）

(1) 人生に共感する

【課題】

- 生育歴の作成は、園幹部職員が支援現場に入っていたり、全体の進行管理が十分できていないため、カンファレンスまで進んでいない。また、日々の業務に追われ、利用者面談もしていない。

【考えられる指標】

- ・ 生育歴/人となりシートの作成・見直し回数 (職員の変化)
- ・ 利用者面談の実施回数 (職員の変化)

(2) 暮らしをつくる

【課題】

- 「らっかせい」や近隣農家や他事業所との連携による農作業に取り組む等、地域の活動の場に参加する利用者が広がっている一方、らっかせいの参加者は充足しておらず、オール中井デーの実施も止まっている。
- 寮内は、居室施錠はほぼ無くなったが、寮やホームの扉は依然として施錠されており、開錠を進めていく必要がある。

【考えられる指標】

- ・ 外出機会の頻度（1人あたりの外出回数）（利用者の変化）
- ・ 地域生活移行者数（利用者の変化）
- ・ 身体拘束の実施件数（利用者の変化）
- ・ 自治会・会議の利用者参加回数、意見数（利用者の変化）

（３）いのちを守る**【課題】**

- 長期に渡る入所施設での支援の中で、機能低下、栄養、医療に関する場面における、利用者のいのちに関わる深刻な問題が放置されている。
- 日常の生活場面において生じている「ささいな体調変化」「健康診断や検診の結果」「表情や声、活動性の変化」等に、現場職員が気付かない／気付けない／気にしないことが課題である。

【考えられる指標】

- ・ 定期健康診断結果における異常値の有無（利用者の変化）
- ・ 低栄養状態の人数（アルブミン値の推移）（利用者の変化）
- ・ 外部通院、救急要請した件数（職員の変化）
- ・ ストレスチェックの結果（職員の変化）

（４）仕組みの改善**【課題】**

- アクションプランは当事者目線を推進していくためにあるが、利用者の声を聴いていない。当事者目線をもう一度見直してもらいたい。
- 健康管理の課題の主たる原因は「マネジメントエラー」であり、その積み重ねで当事者の「いのち」が脅かされる事態につながっている。

【考えられる指標】

- ・ 利用者からの意見に対する改善件数（組織の変化）
- ・ エラー/グッドプラクティスの件数（組織の変化）
- ・ 園内外研修の実施回数、参加者数（組織の変化）

【参考】その他考えられる指標

| 項目 | | 達成度を象徴的に表す指標 | |
|-----|------------|--------------------------------|----------------------------|
| 利用者 | 身体的な健康 | ・ 栄養状態のリスク判定 | ・ てんかん発作に対する脳波検査の実施 |
| | | ・ 食事形態に配慮が必要な利用者の割合 | ・ 筋肉量（大腿部の太さ） |
| | | ・ 骨密度の推移 | ・ 自力での移動・歩行可能 |
| | | ・ 白内障の未対応者 | ・ 睡眠・生活リズムの安定 |
| | 精神的/心理的健康 | ・ 利用者満足度調査の結果 | ・ 利用者トラブルの件数（不安・困り感） |
| | | ・ GP の数（喜び・感謝・達成感など） | ・ 不穏時薬（頓服）の使用頻度（不安・困り感） |
| | 社会的充足感 | ・ 外出先・地域との接点の多様性 | ・ 外部事業所への通所人数・延べ日数 |
| | | ・ らっかせいの活動人数・活動日数 | ・ グループホームの体験や帰宅外泊等の実施回数 |
| | | ・ オール中井デーの実施回数・参加人数 | ・ 寮・班ごとの外出の実施回数・人数 |
| | | ・ 農作業（小規模法人ネットワーク事業）活動人数・日数 | |
| 職員 | 共感力／いのちを守る | ・ 生育歴カンファレンス実施回数 | ・ ER/GP の件数 |
| | | ・ 記録・人となりシート等の変化 | ・ ひやりはっと・事故報告件数 |
| | 心理的安全 | ・ 職員の満足度 | |
| 組織 | その他 | ・ 施設全体のコミュニケーション（自然な挨拶、職員の風通し） | ・ 施設全体の清潔さ（修繕や掃除が行き届いているか） |

4 検討事項

- ・ アクションプランの取組成果の指標として合っているか。
- ・ 複数の取組が重なり合って、一人ひとりの、ひとつの成果に繋がっているが、成果の見える化から、有効な取組をどう見極めればいいのか。

5 今後のスケジュール

（下 半 期）進捗状況・成果（指標に基づく実績）と園と本庁の取りまとめ

（１～２月）アドバイザリー会議の開催

- ・ 取りまとめ結果をもとに評価

（２～３月）成果の取りまとめ（議会報告・独法へ引継ぎ）